

令和5年度 高志中学校3年「高志学」校外研修

- 1 期 日 令和5年5月18日（木）
- 2 目 的 (1) 明治時代の中頃まで北前船の寄港地として栄えた三国湊のまち散策などを通して、ふるさと福井の文化・産業について理解を深める。
(2) 共同学習を通して同学年生徒同士の親睦を深め、相互理解を図る。
- 3 場 所 AM：三国湊のまち散策（ボランティアガイドあり）
※旧岸名家・マチノクラ・旧森田銀行本店・高見順生家・日和山金鳳寺など
PM：福井県営体育館

4 報 告

[三国湊まち散策研修]

校外研修実行委員会を中心に、「MKN（三国）エーション～進取果敢～」をテーマに、事前学習を進めてきました。

三国ではボランティアガイドの方々の案内のもと、事前に班ごとに作成したテーマに基づいて訪問先を見る視点やそこでの「問い」を記した地図を手にして、マチノクラや旧岸名家など7か所をめぐり、三国の街を散策しました。「地域活性化のためのヒントを探る」というテーマを設定した生徒は、「三国は古い建物や街並みを活かした街づくりを行っている。また、そこに住む人々の温かさを感じることができる街であることを感じた。自分の居住地域でもそれを活かしたい」と振り返っていました。今回、テーマを設定して三国で「問い」を検証した過程を、個人の卒業研究に活かしていきます。

(生徒の感想)

- ・三国の魅力は、昔ながらの街並みがそこに住む人々の努力で残されていることだと思う。特に旧森田銀行本店は解体寸前のところから保存されたところに、それを感じることができた。また、ただ残すだけではなく、古い建物を活かした街づくりを行っていることが、街の活気につながっていると考えた。
- ・小道に入らないと気付かないことが多くあると分かり、ルート通りにいかないこともありました。また、ガイドの方がいないと気付かない三国の歴史の魅力があり、事前にルート作成のために調べたこと以上のことを現地で学ぶことができました。



[福井県営体育館研修]

午後から、福井県営体育館のメインアリーナで実行委員が考えた3つの企画を行いました。学年のテーマ「一人一役～一人ひとりがリーダーに～」の実現にむけ、何度も打ち合わせを行ってきました。具体的には、企画内容の立案、内容やルールの説明、小道具制作、当日の運営方法（実行委員と生徒の配置や動き）など。打合せに関しては、最初からうまく物事が進みませんでした。それは、前日まで妥協せずに取り組んだからでした。当日の約2時間の企画の背景には、このように実行委員や実行委員サポートメンバーの「より良いものを創り、みんなに楽しんでもらう」という熱い思いがあり、それが当日、カタチとなってたくさんの笑顔が見られる素敵な時間となりました。

（生徒の感想）

- ・ 整列ゲームでリーダーになりました。的確にメンバーに指示を出し、全体の状況を把握しながら素早く整列できるよう心がけました。また、リーダーでない時はリーダーの指示をしっかりと聞き、周囲に迷惑をかけないようにすることで、円滑に物事が進むことを実感しました。
- ・ みんながリーダーになる場面があって、しっかり実行委員が準備していたことを知ることができました。その中で、自分のことだけでなく周囲のことを意識すること、リーダーの指示を理解していない人がいたらリーダーでなくても教えることが大切だと思いました。今回の研修で、みんなをまとめることの難しさを知ることができ、良い経験ができました。
- ・ 実行委員として、しっかり企画し本番に臨みました。しかし、想定外の事態となる場面がありました。そこで、臨機応変にルールを変更し参加者に伝えることで、公平にゲームを進めることができました。この研修を通して、柔軟に対応することを学ぶことができ、自分自身の成長につながりました。

